

超長寿時代の 平和と戦争を考えるために —全ての世代の立場から—

2024/8/4(日)

14:00-16:00 開場13:30

塩尻市市民交流センター(えんぱーく)

多目的ホール 定員 /130人(先着順)



東京大学大学院

人文社会系研究科教授 加藤陽子氏

申し込み

申込開始：6月23日(日)

本館総合カウンター、
電話(0263-53-3365)、メールのいずれか。
メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「8/4 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ

講演概要

本講演では、まず、鶴見俊輔が示唆していた事実、国家や政府を疑う権利を持つという発想が日本固有の文化にあったことを思い出し、日本は果たして戦争ができる国なのか、その不可能性を冷静に説得する議論の系譜を、日本近現代史の中に見い出しご紹介する。

加藤 陽子(かとう ようこ) 東京大学大学院人文社会系研究科教授 専門は日本近代政治史

1960年埼玉県大宮(現・さいたま)市生まれ。1989年東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。同年から山梨大学教育学部、94年から東京大学文学部で教え、現在にいたる。著書に『模索する1930年代日米関係と陸軍中堅層』(山川出版社)、『徴兵制と近代日本』(吉川弘文館)、『満州事変から日中戦争へ』(岩波書店)、『それでも日本人は「戦争」を選んだ』(朝日出版社)、『昭和天皇と戦争の世紀』(講談社)、『天皇と軍隊の近代史』(勁草書房)、共著に『学問と政治』(岩波書店)がある。